

2018年10月22日（月） 吉備津神社でOHKアナウンサーが朗読

秋の夜長、岡山市の吉備津神社に集う人々。この集まりは、今年5月に「桃太郎伝説」の生まれたまちおかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～のストーリーが日本遺産に認定されたことを記念して開かれたレセプションです。OHKのアナウンサーは2015年から『その後の桃太郎』というオリジナルの物語を、様々な機会に披露してきたことから、桃太郎のモデルとされる吉備津彦命が祀られ、桃太郎伝説が色濃く残る吉備津神社での記念レセプションのゲストとしてお声がけいただいたのです。

『その後の桃太郎』というのは、お互いがちゃんと話をすれば理解しあえるということを桃太郎伝説になぞらえ、伝説のその後の物語という形で創作した作品で、コミュニケーションの大切さを伝える物語です。今回は、上岡アナウンサー、萩原アナウンサー、久保アナウンサー、矢野アナウンサー、藤本アナウンサーの5人が、国宝に指定されている比翼入母屋造（ひよくいりもやづくり）の本殿を背に創作物語を披露しました。

